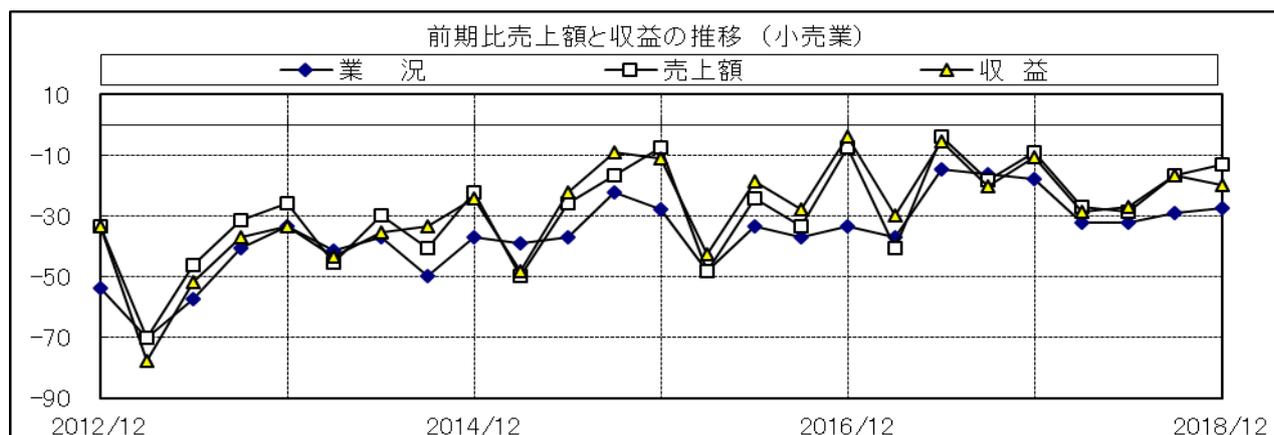


小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績
業況	-32.0	-29.1	-27.2	-30.9
売上額	-28.6	-16.5	-12.9	-18.3
収益	-26.8	-16.5	-20.0	-18.3

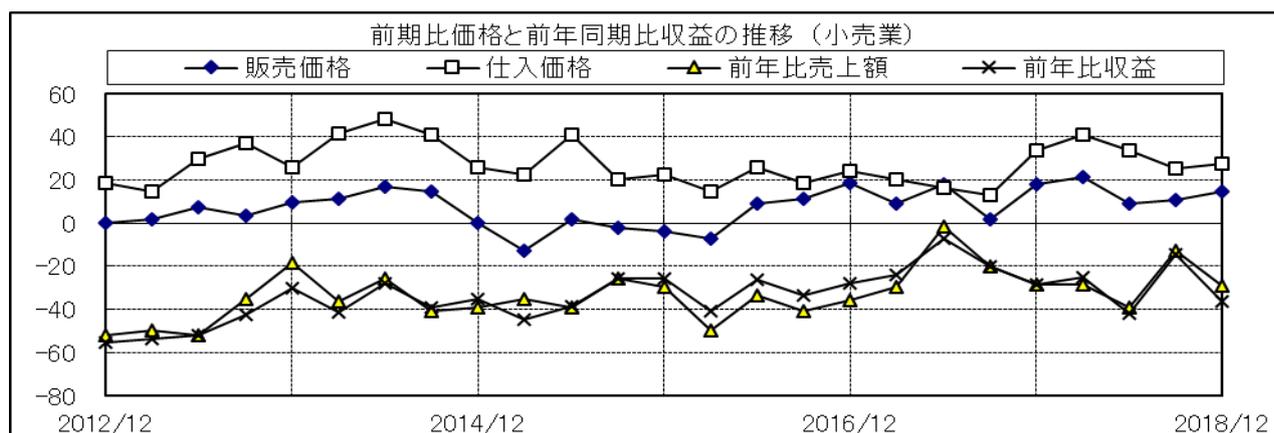
今期の業況判断 D. I. は△27.2 で、前期比 1.9 ポイント上昇、前年(△17.9)比 9.3 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、えりも、三石、広尾、様似、静内と続き、浦河が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△12.9 で、前期比 3.6 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△20.0 で、前期比 3.5 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	8.9	10.9	14.6	-9.1
仕入価格	33.9	25.4	27.4	3.6

販売価格判断 D. I. は 14.6 で前期比 3.7 ポイント上昇、前年(17.9)比 3.3 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 27.4 で前期比 2.0 ポイント上昇、前年(33.9)比 6.5 ポイント下降した。業種別の価格は、衣料品は販売価格が上昇し、仕入価格は下降した。食料品、家電品は、販売価格が下降し、仕入価格は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-5.4	-1.8	-16.4	-12.8
人手状況	-14.3	-10.9	-18.2	-21.8

残業時間判断 D. I. は△16.4 で、前期比 14.6 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△18.2 で、前期比 7.3 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

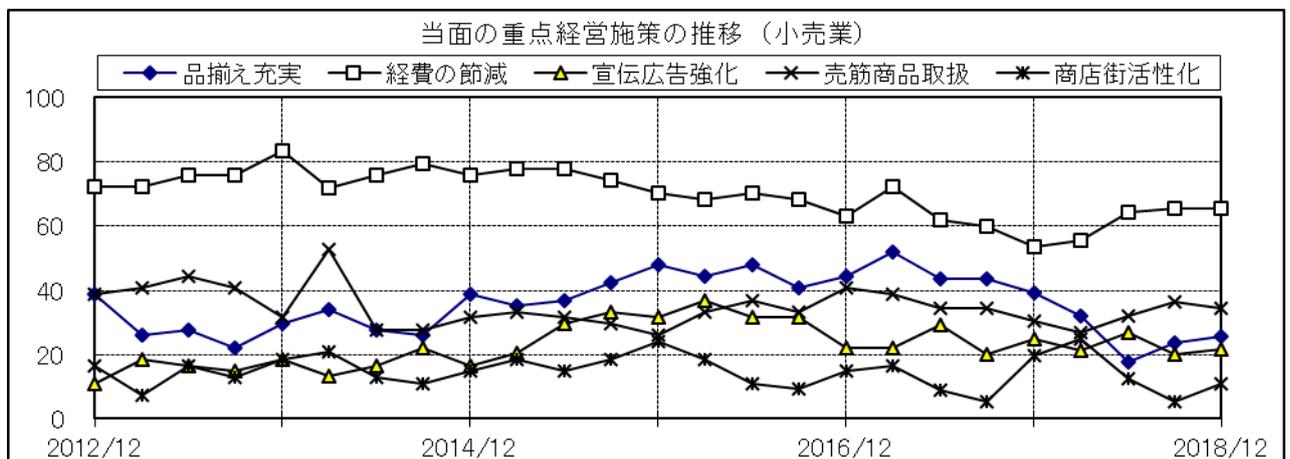
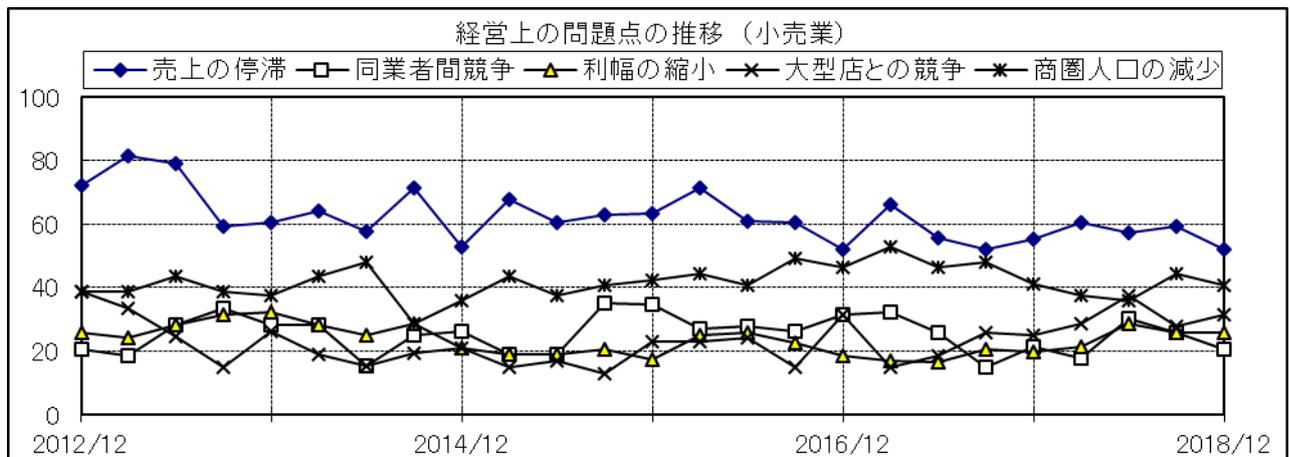
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 12.7$ で、前期($\Delta 16.4$)比3.7ポイント上昇した。

設備実施企業割合は3.6で、前期(1.8)比1.8ポイント上昇した。設備投資は、前期1社に対し2社の実施となった。来期の設備投資の予定は4社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が51.9%と最も多く、「商圈人口減少」40.7%、「大型店競合」31.5%、「利幅縮小」25.9%、「同業者競合」20.4%、「商店街集客力低下」13.0%、「人手不足」・「諸経費増加」・「取引先減少」11.1%、「天候不順」7.4%、「販売商品不足」・「値上り要請」5.6%となっている。重点経営施策では、「経費節減」が65.5%と最も多く、「売れ筋商品取扱」34.5%、「品揃え改善」25.5%、「宣伝広告強化」21.8%、「仕入先開拓選別」14.5%、「人材確保」12.7%、「商店街活性化」10.9%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 30.9$ と、今期比3.7ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 18.3$ と、今期比5.4ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 18.3$ と、今期比1.7ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は $\Delta 9.1$ と、今期比23.7ポイントの下降を見通している。

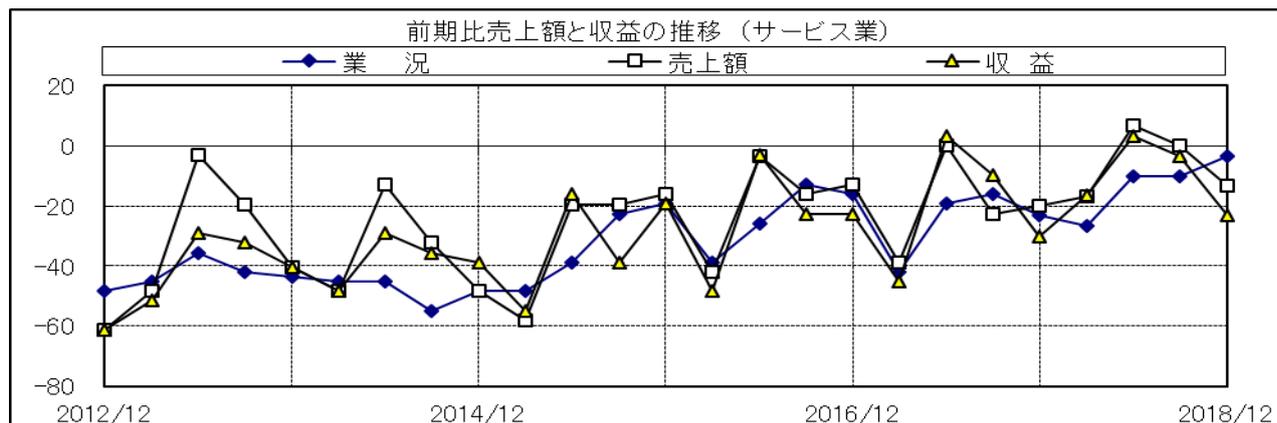
予想仕入価格判断D. I. は3.6と、今期比23.8ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	-10.0	-10.0	-3.4	-10.0
売上額	6.7	0.0	-13.3	-13.3
収 益	3.4	-3.4	-23.3	-13.3

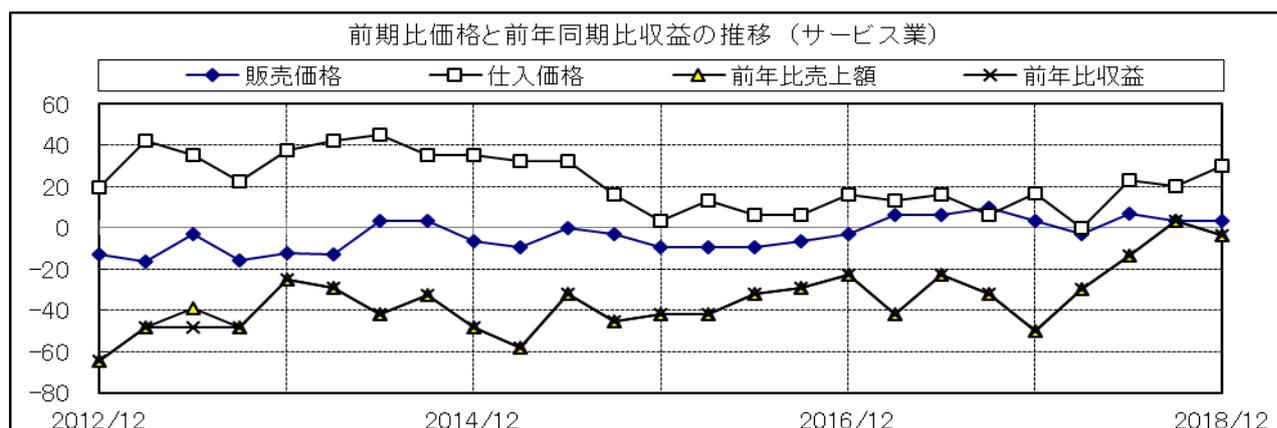
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 3.4$ で、前期比 6.6 ポイント上昇、前年 ($\Delta 23.3$) 比 19.9 ポイント上昇した。地区別の D. I. は、浦河、静内、えりも、広尾が同率で最も高く、次に三石となり、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 13.3$ で、前期比 13.3 ポイント下降した。収益判断 D. I. は $\Delta 23.3$ で、前期比 19.9 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
料金価格	6.7	3.3	3.4	0.0
材料価格	23.3	20.0	30.0	23.3

料金価格判断 D. I. は 3.4 で、前期比 0.1 ポイント上昇、前年 (3.3) 比 0.1 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 30.0 で、前期比 10.0 ポイント上昇、前年 (16.7) 比 13.3 ポイント上昇した。業種別では、旅館業は料金が横這い、材料は下降。洗濯理美容業は料金・材料ともに上昇。自動車整備業は料金が下降、材料は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	0.0	6.7	0.0	-3.4
人手状況	-13.3	-13.3	-30.0	-36.7

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 6.7 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 30.0$ で、前期比 16.7 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

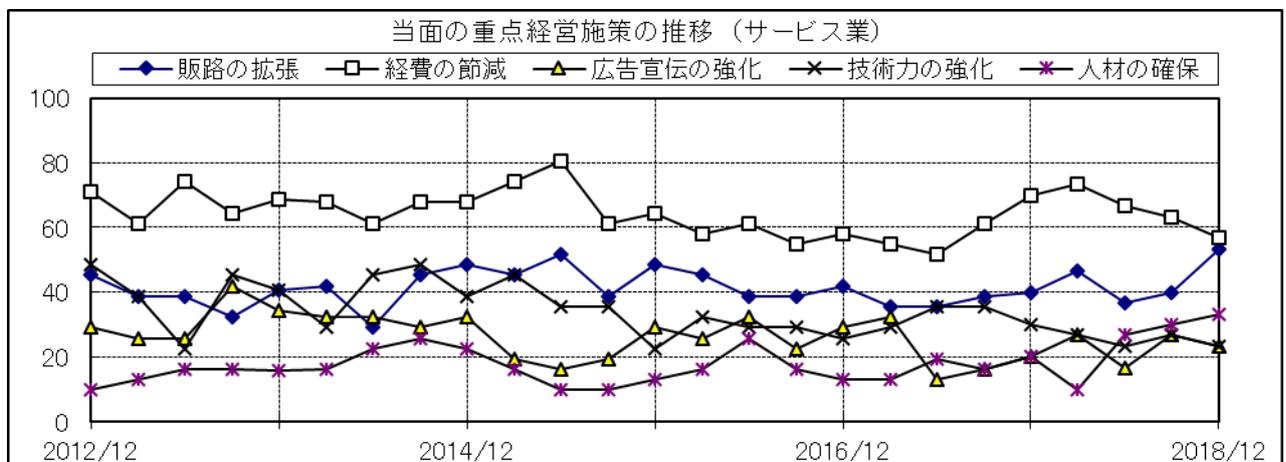
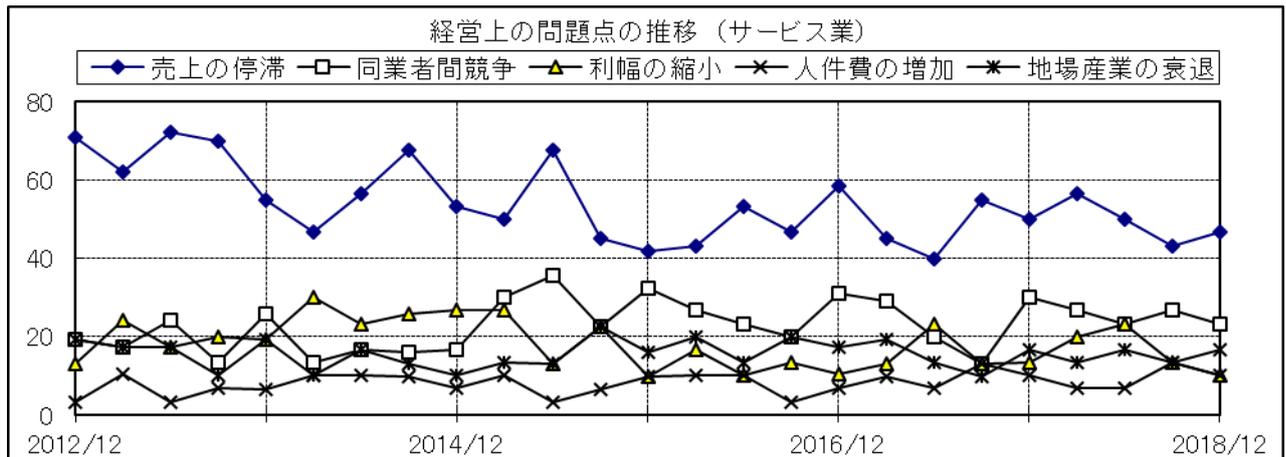
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(3.3)比3.3ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は13.3で、前期(13.3)と同水準となった。設備投資は、前期4社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は2社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」・「商圈人口減少」が46.7%と最も多く、「人手不足」33.3%、「同業者競争」23.3%、「材料価格上昇」20.0%、「地場産業衰退」16.7%、「利幅縮小」・「人件費増加」が10.0%、「合理化不足」・「技術力不足」・「店舗設備老朽化」・「天候不順」が6.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が56.7%と最も多く、「販路拡大」53.3%、「人材確保」33.3%、「宣伝広告強化」・「技術力強化」23.3%、「教育訓練強化」13.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 10.0$ と、今期比6.6ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 13.3$ と、今期と同水準を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 13.3$ と、今期比10.0ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D. I. は0.0と、今期比3.4ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断D. I. は23.3と、今期比6.7ポイントの下降を見通している。